

学校教育目標	高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子 【知】主体的に学習に取り組み、関わりの中で考えを深め、豊かに表現する力を育てます。 【徳】自他のよさを認め合い、思いやりや感謝の心をもって行動する力を育てます。 【体】自分や人の命と体を大切にし、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 【公】夢や目標をもち、人・もの・こととの関わりを大切にして、地域や社会で共に支え合う力を育てます。 【開】多様性を尊重し、コミュニケーションを通して、広い視野で共に生きていく力を育てます。				
学校概要	創立 28 周年	学校長 山岡 久美子	副校長 久保田 昭彦	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数:	339 人	主な関係校: 荏田南中学校 荏田南小学校 荏田東第一小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	荏田南中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>	荏田南中学校 荏田南小学校 つづきの丘小学 校 荏田東第一小 学校	互いの個性を認め合い、自分を高め、地域とつながる子 ○学ぶ意欲や喜びをもって問題を認識し、協働的に解決策を見だし、実行する能力 ○伝え合いの場を通して、自他のよさを理解し、生き方を追求する姿勢 ○自分の考えを豊かに表現する力 ○地域と主体的に関わり、地域の一員として社会参画する姿勢

中期 取組 目標	○学校教育目標を実現するため、子ども一人一人を大切に、信頼され魅力にあふれる学校づくりを目指します。 ・教育課程全体を通して、自ら課題を設定する力、自分で考え解決していこうとする力、対話や協働を通して新しい考えを生み出す力、言語で正確に伝える力など、教科等横断的に育成を目指す資質・能力を育てます。 ・人権を尊重した教育活動を推進し、互いのよさを認め合い、自己肯定感を高め、思いやりの心を育む指導の充実を図ります。 ・規則正しい生活習慣や体力向上を図り、健康な体力づくりの取組を継続します。 ・保護者・地域と連携し、「ひと・もの・こと」とのつながりを大切にした学びを推進し、つづきの丘のまちへの愛着を高めます。 ・子ども自身が成長を実感し、安心・安全な生活が実現できる教育環境を整えます。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	個に応じた指導	①チーム担任制やチーム学年経営、全学年での一部教科分担任制を実施し、授業の質を高め、子どもの資質・能力の育成を図る。②社会科・生活科を中心に子どもたちが教材との出会いを通して主体的に学び、生き生きと表現できる子を育てる。③スキルタイムを活用しデジタルドリル等で反復学習や補充的な学習を実施し、子どもが自分の学びを判断し選択しながら、基礎・基本の定着を図る。④一人一台端末を効果的に活用して個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、デジタル教科書を併用しながら子どもの学びを最大限に引き出す指導を行う。
担当		
徳	人権教育	①道徳の時間を通して、自分事として課題を解決する力を身につけられるようにする。 ②教育活動全体を通して、主体的に取り組める子どもの育成を目指す。 ③異学年交流(ペア学年)の機会を増やし、自分の良さや相手を思いやる心を育成する。 ④子ども主体であいさつ運動や温かい言葉の推進を行い、自分も相手も大切な存在として認め合う心を養う。
担当		
体	健康教育	①体力テストの分析チャートや日々の体育学習を基に自分の体力について知り、高めたい能力を選択し、学校の体育的活動に参加できる子どもを育てる。体育的学習→(1)長縄集会(2)短縄検定(3)ラジオ体操(4)マラソンなど②日々の健康観察から自分の体と心の様子について気づき、生活習慣を振り返ることができる。③給食指導を通して、栄養バランスの大切さを意識できるようにする。④委員会を中心に、病気の予防、衛生等への意識の向上を推進し、日常化へとつなげる。
担当		
公 開	自分づくり教育	①他教科と関連させたり、地域の材とのつながりを生かしたりしながら課題をもち、探求するために体験的な活動を取り入れ、夢や希望、目標がもてるようにする。②自分づくりバスポート、学級活動等の時間を利用して定期的・計画的に成長や変容を振り返ることで、自分の良さを見付け、自ら次の目標を設定できるようにする。
担当		
いじめへの対応		①児童の委員会を中心に、日頃の人間関係を考え、子ども自身が未然防止への取り組みをできるようにする。 ②朝の健康観察を中心に、生活アンケートや面談等を実施し、子どもの変容を捉え、児童理解に努める。 ③月1回だけでなく、事案が起きた時にも委員会を開催し、いじめの未然防止・早期発見に努める。 ④いじめ防止のために研修を継続し、教職員のスキルアップを図る。
担当		
人材育成		①メンター研修では、メンバー主体となり、様々な教職員が関わりながらスキルアップを目指す。 ②授業研究や研修等を通じて、外部講師にも指導を仰ぎながら、さらに日々の学習指導や児童指導の実践力を高める。 ③学年研やブロック研で、朝の健康観察を活用した児童理解を行う。
担当		
組織運営(働き方)		①持続可能な学校として、効果的な日課表の運用と効果的な業務のバランスを考えた働き方を推進していく。 ②チーム担任制やチーム学年経営、全学年での一部教科分担任制を実施し、学年経営力を高めるとともに教材研究の時間を確保し、充実させる。
担当		
特別支援教育		①個別の支援計画、指導計画を基に個に応じた指導、支援を継続し、職員会議等で共通理解を図る。②特別支援教室・校内通級の充実を図り、子どもの困り感に寄り添い、個に応じた学習や情緒の安定を支援する。③SCやSSWと連携したり、講師の先生をお呼びして研修を行いながら、専門的な助言を受け、適切で具体的な指導支援につなげていく。④「Y-Pアセスメント」を年2回活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。
担当		
地域連携 地域学校協働活動		①学校運営協議会において地域住民・有識者・保護者等の立場から意見を出し合い、地域全体でよりよい学校づくりを目指す。②地域力(幼保小、米・野菜作り、体操等)や学校ボランティア(読み聞かせ、緑化活動等)の協力を得ながら、「ひと・もの・こと」とのつながりを大切にした主体的、体験的な学習の充実を図る。③保護者・地域へICTを活用したアンケートを実施し、教育活動の工夫・改善につなげる。
担当		
安全管理		①年間を通して、様々な状況を想定した避難訓練を関連施設と連携して実施し、児童や子どもに関わる大人の防災・防犯意識を高める。②保健委員会を中心に、けが、衛生等への意識の向上を推進し、日常化へとつなげる。③月1回の安全点検を実施することで、事故の未然防止と安全管理に努める。④教職員の安全意識を高めるために、外部の機関と連携した安全研修を計画的に実施する。
担当		